

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	令和8年3月23日
東近江市児童発達支援センター めだかの学校	利用児童数 16名 10施設	回収数 10

チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	8	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい視覚支援や言葉かけ等、その時その姿に合わせた関わりがとて参考になっています。(積極的に励まし褒めていく姿勢、集中して取り組む姿を側でじっくり見守っていく姿勢など。) ・「てつだってカード」は子どもが使いやすいものを取り入れました。 ・「こういう姿もあるよね」と共有してもらえることが良かったです。 ・現時点では取り入れやすい話などはしていません。 ・一対一での関わりは教えてもらえますが、集団の中では取り入れることが難しかったです。 ・自分が見られていなかった場面で児が困っていた姿や行った支援を伝えて下さったので良かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援だけでなく、集団生活の中でどのような関わりができるかも一緒に考えていきます。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	8	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その場で支援の手立てを伝えて下さるだけでなく、子どもに合わせたアイテム(視覚的に伝えられる砂時計、姿勢保持ができるようなマット)を用意してくださるので助かりました。 	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	9	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に活動内容の打合せがあるため、色々な活動場面を見てもらうことや支援を予想をしてくださっていただきました。 ・保育中や電話等、こちらに合わせてフィードバックしていただいています。 	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの課題となる姿が訪問時には見られないことがあったので相談しにくいときがありました。 ・クラスを回しながら支援児を支える方法を一緒に考えて下さいました。 ・1学期から利用児の特性や関わり方を知ることが出来たので、良いタイミングで援助できたと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援時に子どもの課題となる姿がみられないときも、その場で確認できる子どもの姿や訪問先の聞き取りから、訪問先と共に考えます。
5 事業所からの支援に満足していますか。	5	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児の支援が必要ない場面も多かったため、対応が難しかったのではないかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや保護者のニーズを、訪問先施設と見つけていけるようにしていきます。

其他のご意見

ご意見を踏まえた対応

<ul style="list-style-type: none"> ・集団場面と個別場面を園の要望に応じて課題設定等していただきました。個別の場面で理解や姿を確認することで集団での姿の捉え方に繋がったと思います。 ・保護者と動画でポイントを押さえながら共有されていたので、保護者は理解しやすかったと思います。また、園の環境での姿を見てもらうことで、就学に向けて支援方法を考える機会になりました。 ・対象となる子によって月2回ではなくもう少し回数がある方がいいと思います。 ・担任は保育に入っているため、日程調整、保育内容の確認、振り返りなどで連携の難しさを感じました。早めの打ち合わせやメールの活用などできるとよいと思います。 ・支援カードやマカトンなどを使って子どもと関わってもらい、日々の関わり方の参考になりました。また、作業療法士や言語聴覚士など専門の先生に見てもらえる機会があり、教えてもらったので意識して関わることができました。 ・可能であれば訪問支援対象児のケース検討会を行うときに一緒に参加してもらえるとより深く話し合いができると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別的な関わりだけでなく集団の中でできる関わりについても訪問先と一緒に考えていきます。 ・担任との連携強化のためにメールや電話に加え、オンラインの活用も検討していきます。 ・訪問支援先での対象児のケース検討会に訪問支援員が積極的に参加できるよう、体制を整え、訪問先へ周知していきます。 ・訪問支援の目的は、課題や困りごとの解決だけでなく、集団の中で子どもへの理解が深まることであるという点も、訪問先と共有できるようにしていきます。
--	---